

2年生

インターンシップ

7月23日（月）から本校2年生の普通科、生活文化科の就職希望者を対象に3日間のインターンシップを実施しました。地元坂下、中津川、恵那の18の事業所で23名の生徒がお世話になりました。一人一人が、働くことについてじっくり考えるよい機会となりました。

【目的】

県立高等学校と地域の産業界とが連携し、すべての高等学校の生徒に対して就業に関わる体験的な学習を実施することにより、勤労観・職業観を醸成し、主体的に進路を選択する能力や問題を解決する資質や能力、人間として調和のとれた豊かな人間性などの「生きる力」を育成する。（平成30年度高校生インターンシップ推進事業実施要項より）

【インターンシップの様子】



【インターンシップを終えて】

- ・インターンシップを実施し、仕事の大変さが分かりました。体調管理、体力が必要だと思いました。
- ・救急車や消防車に搭載されている機器は数多くあり、現場に着いて現状を確認し、必要な機器を考え、対応しなければいけないので、周りを見て判断できる人が向いていると思いました。事故を防ぐため、互いに声を掛け合って仕事をする大切さが分かりました。
- ・インターンシップ中に、「辛くても頑張ってやり遂げる」ことを教えていただきました。これから、部活動や勉強で辛いことや辞めたいと思うときがあると思いますが、そこを頑張って乗り越えていきたいです。また、働くことは人生の中で一番大切なことなので、しっかりと選んで諦めずに頑張っていきたいです。
- ・お客様から質問を受けた際に説明できるように、自分から進んで調べることや職場の先輩方に話を聞くなど、自分から行動ができる意欲的な人になることが大切だと思いました。